

# 秋 歯 技

発 行  
No. 63

2013年 2月20日

(社) 秋 田 県  
歯 科 技 工 士 会  
広 報 部

## 臨時総会が開催される！

『秋歯技厚生会』を立ち上げる方向について

平成25年1月12日(土) 午後5時より秋田市ジョイナスにおいて(社)秋田県歯科技工士会の臨時総会が開催されました。

ここまでの経緯を説明しますと、歯科技工士会では公益法人取得に際し、秋田県庁での個別相談会の折、県共済が現状のままでは公益取得の妨げになりうる事が判明し、これを受け、共済部分を管理する『秋歯技厚生会』を立ち上げる方向で臨時総会を開催するに至りました。

当日は今季最大級の寒波に襲われ秋田県は大変な大雪に見舞われましたが、無事に開催することができました。



総会出席112名、内委任状96通によりこの臨時総会が成立することを宣言しました。  
その後、議長に新堀房美氏を選出し議事録署名人に西村孝一・西

宮知里両氏を選出後、今野悟県技会長よりここまでの経過報告、臨時総会が行われる経緯、公益法人取得に向けた経過報告後、議事討議に入りました。

第1号議案 秋歯技厚生会の立ち上げの件

賛否採択

第2号議案 共済契約内容見直しの件

賛否採択

第3号議案 厚生会役員選出の件

賛否採択

第1号議案については、秋歯技厚生会を立ち上げる賛成多数。

第2号議案については、保険料の見直しについて会員の意向で死亡保険料の口数を増やすことができれば、より安心でき

る共済にできるため相談していくこととしました。  
第3号議案については、秋歯技厚生会会長に今野悟氏を選出し、役員選出は今野会長に一任することとしました。

理事総会が無事に終了したことをここに報告申し上げます。



# 年頭のごあいさつ

(社)秋田県歯科技工士会

会長 今野 悟

新年明けましておめでとうござ  
います。

会員の皆様におかれましては、  
輝かしい新年を迎えられたことと  
お慶び申し上げます。

また、平素より本会の事業運営  
に對しまして、ご理解とご協力を  
賜り心から感謝申し上げます。

今年の冬は18年豪雪に次ぐ大雪  
で、年明け早々から雪との闘いで  
ご苦労されていることと思います。

夏は暑く、冬は寒くて雪が多い、  
あたりまえのことなのですが、こ  
こ数年それを強く感じられるよう



な気がします。

景気は上向きとはいうものの、

私たちの業界はなかなかそれが実  
感できません。昨年は歯科診療所  
の閉鎖が前年の4倍もあり、また  
患者の数が減ったと感じている歯  
科医が5割以上もいたそうです。  
昨年末に政権を奪回した自民党に  
淡い期待を寄せているところでは  
す。

そのような厳しい折、歯科技工  
士法施行規則の一部を改正する省  
令が、10月2日に公布され、今年  
の4月1日に施行されます。改正  
省令の施行に伴い、新たに「歯科  
技工所における歯科補てつ物等作  
成等及び品質管理指針」を定め同  
日より施行されることになりました。  
これにより開設者は指示書に  
基づき補てつ物等の作成ごとに歯  
科技工録を作成しなければならな  
くなりしました。

また、指示書には、新たに患者  
の氏名、歯科医師の氏名、歯科医  
院の所在地、技工所の所在地の記  
載が加わりました。

構造設備基準については、常時  
居住する場所及び不潔な場所との  
明確な区別や防塵・防湿・排水・  
廃棄物処理設備の設置、安全およ  
び防火の支障がなく機器の配置が  
できて10平方メートル以上の面積  
を有することが義務付けられまし  
た。今回の改正で影響を受ける歯  
科技工所は個人ラボの1割程度と  
みられるとの報告がありました。  
「これだけの規制強化をどういう  
メリットで受け止めればいいのか、  
どう考えてもメリットがない」と  
訴える人もいます。確かに  
大変なことではあります。イン  
ターネットの普及や流通過程の多  
様化から、より安心で安全な歯科  
医療を確立していくために我々か  
ら襟を正す体制が必要であり、ひ  
とつひとつやり遂げる事が歯科界  
の発展に繋がると思います。特に  
指示書に関しては歯科医師の先生  
方にも充分にご理解いただきたい  
と思います。

先日、「歯科技術が先進医療に」  
という見出しを目にしました。歯  
科用貴金属の代替材料としてグラ  
スファイバー補強高強度コンポジット  
レジンを用いたブリッジ技術の  
先進医療への導入が、厚労省が開  
いた中医協総会でできまった。とあ  
りました。

金属代替で先進医療に！ いよ  
いよきましたか？ と思っていました。  
現時点で行う歯科医の要件とし  
ては何かあるみたいですが、  
将来的には保険導入も検討されて  
いるとのこと。刻々と変わる世の  
中の変化には柔軟に対応してい  
なければ生き残っていけない感  
があります。

ある意味、互いに競い合う競争  
をして己を高め、この歯科界を共  
に創る共創していけたらと思いま  
す。

今年、公益法人改革移行期限  
の年であります。いろいろな面  
で指導ご鞭撻ご協力を賜りますよ  
うお願い申し上げます。貴会の益々  
ご発展と会員の皆様のご健勝、ご  
多幸を祈念いたしまして新年の挨拶  
といたします。

地 区 だ よ り

【県北地区】

新年おめでとうございます。

昨年の支部活動としては、全体的に活動が少なかったと思いましたが、各個人では、研修会の参加がみられ良かったと思います。

これからの支部活動の予定としては新年会、ポウリング大会を予定しています。

政權が変わり、経済が良くなり、生活が安定してくれることを期待したいと思っています。

会員の皆様のご繁栄とご発展を心よりお祈り申し上げます。

(藤盛 正伸)



【能代山本地区】

種苗交換会での技フェア

笑顔がうれしい

平成24年10月31日(水)～11月6日(火)まで第135回秋田県種苗交換会が、能代市総合体育館を主会場とし落合地区の協賛第2会場、旧料亭金勇を中心とした能代市街を協賛第3会場として開催されました。

期間中は悪天候にもかかわらず多くの方に来場していただき能代市での開催としては過去最高とな

る約83万1千人(JA秋田中央会発表)の来観者数となりました。

私たち歯科技工士会は能代市総合体育館1階格技場において歯科補綴物の模型展示と歯科技工に関するパネル展示、来場者の手形採取を例年通り行いました。

技フェアブースの来場者487名、手形制作68個を丁寧に制作し、無料で配りした石膏模型は即日完売しました。猫の模型を探しまくるおばあちゃんが印象的でした。できれ



ばもう少し可愛く、風化していない模型が欲しいところです。次回開催は横手ですので、県南地区で新模型を考えてみてはどうでしょうか。

手形制作は子供さん、親御さん

に大変喜んでいただいたと感じました。今回、新しくストローを印象材にさしてから石膏を流し、紐を通す穴を作るといふ新しい試みが大成功！笑顔がうれしい2日間でした。

搬入作業、撤去作業に頑張った能代山本地区技工士会員の皆様、応援に来ていただいた中央地区、県南地区、本荘由利の皆様ありがとうございました。おかげさまで無事に技工フェアを終えることができました。

以上報告申し上げます。

## 介護施設へ入れ歯 ケースなどを寄贈

〈北羽新報掲載より〉

県歯科技工士会能代山本支部(栗山省平支部長、20人)は8日、能代市二ツ井町仁鮎の小規模多機能型居宅介護事業所・わか杉の郷(若狭千春施設長)に「入れ歯ケース」と「入れ歯洗浄剤」を寄贈した。

奉仕活動の一環で平成16年から



能代山本支部が「入れ歯ケース」などを寄贈

毎年、能代山本郡内にある老人福祉に対しプレゼントしている。この日は同支部から栗山支部長と文化レクリエーション部門の佐藤三男さんの2人が、ケース100個と洗浄剤240粒を持参して同施設を訪問した。

若狭施設長は「入れ歯ケースがあると、外した後に他の人の入れ歯を間違ってはめるといったことも防げる。とてもありがたい」と感謝。栗山支部長は「長く使う入れ歯だからこそ大事に使ってほしい。寄贈は今後も続けていきたい」と話していた。

## 【中央地区】

9月2日、宮城の大野建夫先生による2回目の生涯研修が行われました。

秋田県以外からも何名か参加があり、前回参加していなかった人たちのためにおさらいもしていた。普及の技工にも役立つ小ネタから、大野の台形の解説やら大変丁寧で分かりやすい講義でした。2013年も何回か研修会を行いますので、会員の皆様ふるってご参加お願いいたします。

次に10月21日岩手県の大槌町に



中央地区から10名で震災ボランティアに行ってきました。今回は、道路の側溝の泥だしをしてきたのですが、震災の日から1回も開けられていない場所もあり、作業の前に責任者の方から「何か出てきたらすぐ教えてください」と少々背筋が寒くなる話から始まり、最初は少々ビビリながら、でも途中からは一生懸命作業しました。

震災から2年近く経とうとしていますが、まだまだ復興には遠いみたいですが、大きな事はできませんが、コツコツ手助けできたらと思います。



## 【本荘由利地区】

2012年中央地区のいろいろな行事に参加協力していただきありがとうございました。

2013年もよろしくお願いいたします。

私事ですが、技工士会に入会して30数年になります。この間、技工士会も会員も、また、非会員の技工士も時代の変化に対応しつつ、努力をしてきたはずですが、技工士を取り巻く環境は決して良くなつたとは言えません。

人口減少は特に秋田県においては深刻な問題です。県全体の人口が減少する中で市街地と中山間地との人口差は広がる傾向にあります。こうした現象は歯科業界に留まらず他の産業にも大きな影響を与えています。

私たちが歯科技工を今後も業としていくためには、何を為すべきか。

昨年は年末に総選挙があり、政権が変わりました。政策、制度が変わっても生き抜くためには、歯科界の新しい理論・技術・材料・

機器等の進歩に常に目を向け、個々の研鑽を積む以外にないと思えます。

35年前に母校の教授の言葉、『研鑽を積んだ人が生き残り、その他は淘汰される』

この原稿を書くにあたり思い出されます。(小野一郎)

## 【県南地区】

あけましておめでとうございませ。本年も県南技工士会の更なる事業拡充を目指したいと思っております。

今年の正月休みは、カレンダーの都合上、例年より多く休みを取りやすかつたのではないだろうか？計画さえ立てていけば、長期旅行も出来たのに：悔やまれます。雪がない生活まであと4ヶ月、暖かい春が待ち遠しい。

## ◆昨年の主な事業

4月 県南総会

6月 義歯ネーム入れ

(湯沢歯科医師会合同)

8月 県南旅行1泊2日

(山形經由 仁賀保)

9月 県南会報

10月 県南親睦レクリエーション(盛岡)

11月 新入会員歓迎会(2人)

(ボウリング・懇親会)

2013年

1月 研修会

(講師 佐藤達志先生)

新年会

(ゆうゆうプラザ)

おかげさまで、昨年予定していた事業計画案を無事遂行することができました。

§

1月26日は、新春企画として、テーマ「在宅医療における口腔ケアと義歯の重要性について」、講師に佐藤歯科医院院長先生をお迎えして研修会を行います。(在宅医療など加藤武彦先生のもと歯科医療界で活躍されている先生です)終了後、講師を交え、新年会を行う予定となっております。

今年も会員の皆様及び役員の皆様のご協力とご指導をよろしくお願いたします。(照井 環)



日本歯科技工学会編纂による『歯科技工学用語集』が医歯薬出版社より発刊されました。歯科技工分野では『歯科技工学辞典』が発刊されていましたが、近年の急速な時代の変革に伴い新たな技術革新や材料の進展は目覚ましいものがあります。そこで、それをもとに時代に即した用語を精選収載し、『歯科技工学用語集』として日本歯科技工士学会が編纂した書籍です。

日本歯科技工学会編纂  
『歯科技工学用語集』  
発刊のご案内

前回掲載しました『歯科技工学用語集』が在庫7冊となりました。

お求めの方はお早めに！

秋田県歯科技工士会会員の方々には5,880円(税込)のところを4,000円で販売しております。申込みは事務局まで。

## ～事務局より～

## ◆会員動向

- ☆新入会者 梶田 美咲(やなぎだ みさき)さん【県南地区】 勤務先…高山歯科医院  
 横山 昇(よこやま のぼる)さん【能代山本地区】 勤務先…横山歯科医院  
 佐藤 秀明(さとう ひであき)さん【中央地区】 勤務先…医療法人清水歯科医院  
 青野 耕士(あおの こうじ)さん【県北地区】  
 勤務先…(有)オーラル・ヘルス・デザイン

- ☆結 婚 ・鷹谷史生子さん(本荘由利地区)  
 結婚して阿部史生子さんになりました。  
 ・畠山 仁美さん(中央地区)  
 結婚して佐藤仁美さんになりました。

- ☆出 産 ・釜台 修義さん(本荘由利地区)  
 笑那ちゃん  
 ・高木 智仁さん(中央地区)  
 千紗ちゃん  
 ・佐々木順也さん(県南地区)  
 統真ちゃん



## こちら広報部

平成25年1月26日(土)、横手駅前温泉ゆうゆうプラザにおいて佐藤歯科医院・佐藤達志先生による講習会『最近の口腔ケア』が開催されました。

横手は少し遠かったです、ラジオで耳にする自転車で訪問医療する歯科医師五島先生の話が非常に興味深かったせいもあり、湯沢で訪問医療を行っている佐藤先生の講習会に参加してきました。

これからの高齢者の介護・口腔ケアの大切さ、義歯と認知症患者さんの関連性、前咬みと側頭筋の動きの違いなど、患者さんへの口輪筋のマッサージをしている様子など動画を交えた分かりやすい講習会でした。

認知症のある患者さんの印象の難しさ、かみ合わせの誘導など、歯科技工士が直接触れたことのない動画映像が印象的でした。佐藤先生もこれからの歯科医師の重要性、歯科技工士も一つの役割を果たしている。歯科医療を担っていると再確認できました。

講習会終了後、同所において新年会もおこなわれ、飲みながらの質疑応答が行われました。佐藤先生自身もノミネーションを大切にして居るため和やかな雰囲気での時間を共有できました。

歯科技工士を取り巻く環境は、決してストレスが少ない職業ではないと思っています。このストレスと上手に付き合っていくことも健康で充実した生活を送るために重要ではないかと考えさせられた講習会でした。

横手セントラルホテルの金券がピンゴ大会で当たったので、ストレスが溜まったら、また横手の温泉にでも入りに来ようと思います。16年ぶりに技工士学校の同級生とも会えました。いい時間を過ごせました。

県南地区の皆様、ありがとうございました。

秋歯技広報部では自薦他薦の投稿や、広報部で取り上げてほしい話題を募集中です。

写真も随時募集中です。連絡はこちらまで。

torupan0620@mail.goorne.jp

広報部 武内まで